

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
藤枝市藤枝四二一七
大慶寺 大場正昭
Tel 〇五四-六四一-二二二九
Fax 〇五四-六四四-六二二六
ohba@ennyozan.org

平成29年 星除け祈禱受付開始
● 厄年除け(数え年)

・ 男 25才、42才、61才

・ 女 19才、33才、37才、61才

● 星除け 平成29年 星まわりの悪い人

● 八方塞がり除け 平成29年 一白水星の人

昭和11年、20年、29年、38年、47年

56年、平成2年、11年、平成20年生

● 家内安全 進学成就 身体健全 交通安全等

※ 申込書は今月上旬に郵送又はお届け致します。✓切りは節分の2月3日です。

大晦日 除夜の鐘・水行

・ 除夜の鐘 夜11時30分

・ 水 行 夜11時45分

・ 新年初祈禱 午前0時

◆ 誰でも打つことができます。



古いお札を納めましょう

本堂前に古いお札を納める箱を設置しました。2月3日までです。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申し込みは寺まで。

今年最後の法話箋

今年の法話箋は、合掌すること、感謝することの大切さを考えてきた。

仏さまは、実相をしつかり捉えよと教える。即ち、一つ一つの事実を見つめ直すことの重要性を説いている。

気がつけばここにある自分の命。それはどこから来たのか、なぜここに自分の命があるのか？不可思議なことの上に、我々は毎日の生活を営んでいる。不可思議ではあるが、確かに言えることは、自分の命がいまここにあること。それを素直に見つめれば、自分の命に自然と手を合わせたくなる。

さらに、人の心には必ず「仏の心」が存在すると教える。自分の心に「仏の心」があるならば、相手の心にも「仏の心」がある。だから人は尊いのだ。

僧侶になつて約30年。僧侶なりたての自分を絶えず微笑みながら身を以て教えてくれた身延山九十世岩間法主のお言葉を紹介して、本年最後の法話箋とさせて頂く。30年経つても、真実はやはり真実。今の時代でも充分に通用する。努めて人々に捧げることが心かけたい。相手の「仏の心」に合掌。

美しい人生の花

紅に紫に色とりどりに
咲くつつじの美事さ

枝にも根にも
色はないが

咲く花のもとが
ひそんでいるにちがいない

私たちはつまらぬ人間だが
心にひそむ親切と愛情を

努めて人々に
捧げるなら

つつじに劣らぬ
美しい人生の花を

必ず咲かせる
時がくる

身延山第九十世 岩間日勇法主

「共に生き、共に栄える」より